家（1976）

BURNT OFFERINGS

メディア 映画
ジャンル ホラー　ミステリー　サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 116分
初公開日 1977/04/23
公開情報 ＵＡ

【キャッチコピー】
ーー家が人間を喰って生きていた……

【解説】
　配給元のユナイトが’７７年に“パラサイコ”シリーズと銘打って公開した恐怖映画の第２弾（第１弾は「キャリー」、第３弾は「オードリー・ローズ」）。夏のバカンスを過ごすため、ニューイングランドの古い豪邸にやって来た一家。だが、伯母（Ｂ・デイヴィス）は体調を崩し、夫（Ｏ・リード）は何かに憑かれたようになる。妻（Ｋ・ブラック）は邸の持ち主である老兄妹から、最上階に住む彼らの母への食事を頼まれるが、その人物は決して彼女の前に姿を現さない。やがて、最初の犠牲者が出た時、邸に異変が訪れた……。家そのものが怪異の存在であり、人々を喰らっては成長を繰り返しているというのがユニーク。実際、脱皮をするかのように“新造”されていく描写など、思いついても具体化しづらいアイディアを、「血の唇」などホラー作品を多く手掛ける（ＴＶが多いが）Ｄ・カーティスは手際よく処理している。だが悲しいかな、この作品で最も恐ろしいのは、息子をプールで殺しかけるＯ・リードと、“家”に取り込まれてしまうＫ・ブラックの２人の怪優の凄まじいまでの形相であろう。この夫婦、強烈すぎます。

【クレジット】

監督	ダン・カーティス	Dan Curtis	
製作	ダン・カーティス	Dan Curtis	
原作	ロバート・マラスコ	Robert Marasco	
脚本	ウィリアム・Ｆ・ノーラン	William F. Nolan	
	ダン・カーティス	Dan Curtis	
撮影	ジャック・マークェット	Jacques Marquette	
編集	デニス・ヴァークラー	Dennis Virkler	
音楽	ロバート・コバート	Robert Cobert	
出演	カレン・ブラック	Karen Black	マリアン・ロルフ
	オリヴァー・リード	Oliver Reed	ベン・ロルフ
	バージェス・メレディス	Burgess Meredith	アーノルド・アラーダイス
	アイリーン・ヘッカート	Eileen Heckart	ロズ・アラーダイス
	ベティ・デイヴィス	Bette Davis	エリザベス
	リー・ハーコート・モンゴメリー	Lee Harcourt Montgomery	デヴィッド・ロルフ
	ダブ・テイラー	Dub Taylor	
	アンソニー・ジェームズ	Anthony James	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.